

# 営業分科会定期委員会に参加！

私たち東京地区分会は4月18日に名古屋で開催された営業分科会定期委員会に、管野・丸山・佐藤・小林健の4名で参加してきました。

会議では全地本から13名の仲間が参加し、議論を深めました。

主な意見は

「要求事項で介護手当の新設とあるが、私たちには介護資格はないのでおかしいのではないかな？また必要以上の手助けでお客に怪我でもさせたら、問題になるのではないかな？」

「車椅子でタクシー乗り場まで案内するときは、施設管理権の関係で点字ブロックの手前までになっている。他の駅ではどうしているのかな？」

「東京駅の遺失物窓口では、遺失物以上に外国人の駅案内が多い。八重洲側ではJR東日本が案内窓口を撤退した。JR東海としての案内窓口を新設すべきだ。」

「目の不自由な旅客の対応で駅員に笛が配布されている。」

「東海道本線の岡崎駅～豊橋駅間で集中旅客サービスシステムが導入されようとしている。これは東海交通事業に業務委託している駅を無人化するもの。」

「新大阪駅営業二科の社員を基準人員に入れろと要求しているが、会社は『営業二科の仕事は駅本体でやる仕事ではないので基準人員外です』と言っている。」

「東京駅では車椅子業務にSMTの社員が入っている。新横浜駅でも車椅子業務をSMTに移管する噂話が出ている。」

「駅管理者からのパワハラを担当部署に話したら人事課の人間が対応。組合の申し入れに対応したのも人事課？会社内部の人間ではなく、第三者の窓口を新設すべきだ。」

「病气入院で5日の年休を使ったら、診断書の提出を言われた。その後に管理者は『6日以上が必要で、今回は要りません』と言ってきたが苦情申告した。」

「東海交通機械に駅業務の委託をしているが、最悪の労働条件だ。」

(役員体制)

会長	堀部 肇	(名古屋地本)
副会長	佐藤 雅巳	(新幹線地本)
事務長	有村 浩幸	(新幹線関西地本)
幹事	寺田 茂	(静岡地本)

\* これまで事務長を担っていた丸山さんは、今回退任されました。

\* また本部大会での営業分科会からの代議員は佐藤副会長を推薦することを確認しました。

**リニア建設のための効率化？労働条件改悪！旅客サービスの低下？**